

事務事業評価表(既存事業)

コード 8-2-2	事務事業名 公園ボランティア事業	所管部課 都市整備部公園緑地課
--------------	---------------------	--------------------

事務事業の概要	事務事業の目的 環境にやさしいまちづくりの取り組みである[みどりの保全・活用]の一環として、市民によるボランティア団体(個人を含む)に資材等の支給を行い、市民参加による公園づくりや維持管理を促進し、管理委託費等の軽減を図る。	総合計画上の位置づけ (政策)環境にやさしいまちづくり (施策)みどりの保全・活用(環1-1) (主要施策)公園ボランティアの拡充
	実施内容、実施方法 市報掲載によるボランティア募集のほか、日常の業務中でボランティア参加への呼びかけをし、ボランティア養成講座等の開催も行っている。また、必要資材等の支給も行っている。	根拠法令等 公園等管理協力会員に関する要綱
事業開始時期 平成 16 年度 実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()		

評価指標の設定	活動指標名 市報掲載回数	活動指標の考え方(定義) 公園ボランティア拡充を図るために何回市報に掲載したか。
	開催講座数	市が開催のために用意した講座数
	成果指標名 会員数	成果指標の考え方(定義) 当該年度の公園ボランティアの会員数(増減の把握)

		単位	14年度	15年度	16年度	17年度	
事務事業データ	事業費(A)		0	0	1,348	1,703	
	国庫支出金	千円					
	都支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源		0	0	1,348	1,703	
	所要人員(B)	人			0.1	0.1	
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	0	0	833	833	
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	0	0	2180.8	2535.8	
	単位当たりコスト (E)=(D)/(会員数)	千円	0	0	4.43		
	歳入	千円					
	活動指標	目標値	回			2	2
		実績値	回			2	
	活動指標	目標値	回			-	6
実績値		回			-		
成果指標	目標値	人			450	500	
	実績値	人			492		
成果指標	目標値						
実績値							

事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	犬の飼い主のマナーの向上(フンの始末・放し飼いにする)
	国・都・他市・民間等 における類似事業	
	運営上の制約条件・ 外部要因等	

コード 8-2-2	事務事業名 公園ボランティア事業	所管部課 都市整備部公園緑地課
--------------	---------------------	--------------------

事業所管部評価	項目	評価結果	判断理由、説明等
	実績	<input type="checkbox"/> 極めて良好 <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 不十分 <input type="checkbox"/> 極めて不十分	会員の人数が目標値を上回っていることから、実績としては概ね良好と考える。
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 増大 <input type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少、一部なし <input type="checkbox"/> かなり減少	公園の数が増えているなか、除草・剪定等のボランティア協力が経済的にも情報提供面でもメリットがある。
	効率性	<input type="checkbox"/> 大きく改善 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	乗用の草刈り機を購入したことにより、千駄山広場等の除草費用が軽減された。また、公園ボランティアに「ホウキ・カマ・ゴミ袋等」配布していることにより除草・清掃費用が軽減されている。
	公平性	<input type="checkbox"/> より充実 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	公園ボランティアの活動に対し、支給品リストにより公平に配布している。また、器具の貸出しも「西東京市立公園等管理協力会員作業備品等貸出し要領」に沿って貸出しを行っているため公平に活用されている。
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止	現状水準で事業を継続していくことで、除草・剪定等に協力が得られ景観も維持できる。また、会員からの情報が得られ現状の把握がより速くできる。身近な公園が綺麗になり利用者に喜ばれている。

17年度における改善点	
-------------	--

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止	
--------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

評価の視点

- 実績：十分な成果をあげているか。必要以上のサービスにより、経費が過大となっていないか。など
- 必要性：国・都・民間での実施状況に鑑み、市が実施すべき事業といえるか。社会経済状況の変化を踏まえて実施しているか。廃止した場合に大きなデメリットは生じるか。など
- 効率性：限られた財源を有効に活用しているか。現在の実施方法が最も効率的な方法といえるか。など
- 公平性：サービス対象に問題はないか。利用者の利便性に配慮しているか。受益者負担の水準は妥当か。など
- 総合評価：各項目の評価及び類似団体等とのサービス水準の比較を踏まえた、今後の事業のあり方・方向性。
 - 拡充：ニーズの増大に対応して、事業を更に強化する必要があるもの。
 - 継続実施：現状水準で事業を継続していくもの。給付対象者の自然増減に伴いコストが増減する場合を含む。
 - 改善・見直し：現在の仕組みを前提としつつ、実施方法の見直しなどにより改善を図るべきもの。
 - 抜本的見直し：事業の委託化や一部廃止など、事業の仕組みを含めた根本的な見直しが必要なもの。
 - 廃止・休止：事業を休止又は廃止するもの。単年度事業など、終了が確定しているものを含む。